

厳しい気象条件に打ち勝つ緻密な連絡体制。 GPS機能付きのmcAccess e の導入で 灯油配送の効率化を実現しました。

「株式会社出光エネルギーサービス札幌」様

●所在地／北海道札幌市白石区平和通12丁目北5-62 ●TEL／011-863-3443
●契約台数／mcAccess e 17台(平成17年3月導入・管理移動局1台／移動局16台利用)

GPSで、車両位置がリアルタイムにわかり、雪による道路状況の変化にも対応。
mcAccess e は、灯油配送において、頼りになるパートナーとして位置付けられています。



株式会社出光エネルギーサービス札幌 代表取締役専務 種畑 基さんは、mcAccess e を「頼りになるパートナー」として位置付けています。

パソコン画面で 車両位置が確認でき、 突然の注文にも即応可能に。

株式会社出光エネルギーサービス札幌は、系列の灯油販売会社14社が集まって平成9年に設立された、灯油配送を主業務とする運輸企業です。北海道では、暖房に石油ストーブを使用することが圧倒的に多く、一戸建て住宅の場合、400リットル以上の灯油が入るホームタンクを敷地内に設置しています。灯油配送は、一軒一軒のホームタンクに灯油を給油する業務なのです。

同社では、現在、16台のタンクローリー車が札幌市内及び近郊をエリアとして稼働。その全車両にmcAccess e を積載しています。

「導入前にも他社の無線を使っていたのですが、社内にパソコンが一台あれば、車両の現在位置がリアルタイムでわかるGPS機能付きのmcAccess e の便利さに飛びつきました」と同社 代表取締役専務の種畑 基さんは



お客様宅のホームタンクに灯油を給油中。

語ります。

灯油の配送はお客様との契約による定期的な給油が中心ですが、連日厳しい寒さが続く折には、灯油の消費量が一気に増えるため、突然、電話注文が入ることもよくあります。その要望に応えることもサービスの一環となっているのです。

そこで、mcAccess e が活躍。「パソコンを見れば、16台のタンクローリー車がどこにいるかすぐにわかるので、急な注文があったお客様の近くのルートを走る車両を即座に回すことができます」と、同社 業務課長の大森敏弘さん。

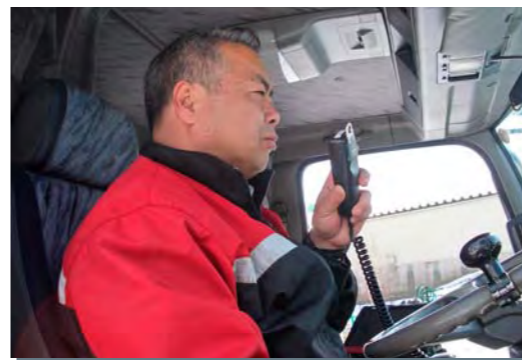
それまでは、携帯電話などで全車両に連絡して現在位置を確認しており、大変な労力が必要でした。今はパソコンのGPS画面を見て、依頼先近くにいる1~2台の車両と連絡をとればOK。mcAccess e のパワーに大満足の様子です。

お客様からの問い合わせにも、 乗務員同士の情報交換にも mcAccess e が活躍。

緊急の注文が増加する冬場の寒波の折には激しい降雪で道路がアイスバーン状態になり、



株式会社出光エネルギーサービス札幌。



mcAccess e は乗務員同士の情報交換にも活躍。

たちまち交通渋滞が発生します。そういった道路の渋滞状況などについては、mcAccess e の一斉通信を活用して一斉に情報を流し、乗務員が臨機応変に対応できるようにしています。また、お客様が到着時間を問い合わせられた場合も、mcAccess e のおかげで、タンクローリー車の現在位置や交通渋滞の状況を的確に伝えることができます。そうすれば、たとえ配送が遅れてもお客様には必ず納得いただけるとのこと。

また、mcAccess e は乗務員同士の情報交換にも活躍しています。それぞれが走ってみてわかったリアルタイムな交通状況や天候の様子などを、個別通信を利用してお互いに伝えられるので、走行に費やす時間を省くにも役立っているのです。

さらに、mcAccess e のメール機能も便利です。ホームタンクに給油する作業は結構時間がかかるため、連絡を入れても車両から離れていることも往々にしてあり、その場合はメー

mcAccess e ・ P O I N T

●GPSで車両位置 把握・管理

GPSにより、事務所にいながらにして、車両位置・走行状態がリアルタイムでわかります。電話による確認が不要になり、効率的。車両の位置を地図上の車両マークで把握でき、状態管理ができます。業務日報の作成も可能なので、業務分析が容易になり、業務全体の効率化が図れます。



パソコンのGPS画面で全車両の現在位置が把握できます。

●車両を離れているときに便利なメール機能

メールの作成・送受信も簡単操作でOK。乗務員が車両を離れているときも、車両に戻ればすぐに対応できます。ハイパースピーカーマイクの利用により、メールの作成・送受信が手元で簡単に操作できます。また、テンキーマイクでは、テンキーで定型の漢字メッセージが送受信できます。

●休止の際も、ロムの取り外し不要

シーズンオフには、休止制度を利用。その際、アナログと異なり、ロムの取り外しが不要です。アナログではID-ROMに書き込んだ契約内容に基づいて通信サービスを受けることができる仕組みなので、通信サービスの変更が生じると書き換えのために取り外し、新しく再装着するなどの作業が必要でした。mcAccess e では、このような作業を簡略化するため、中継局から無線により、直接無線機に通信サービスの内容を書き込むことができようになり、ID-ROMが不要になりました。

ルを利用。車内に戻った乗務員がメール着信履歴を見てすぐに事務所と連絡を取ることができるため、業務連絡がスムーズになりました。

北海道の灯油の需要は主に10月下旬から4月下旬。それ以外でも灯油配送は行っていますが、数は減るので何台かは休止制度を利用しています。アナログと違ってロムの取り外しが不要なので、利用しやすいとか。

今や、灯油配送の効率的な業務に欠かせないmcAccess e は、お客様へのサービスと明日の企業躍進のためにも大切な通信手段となっています。



灯油配送に使用しているタンクローリー車。全車両に mcAccess e を積載。